

# ■第20回通常総会議案・ 模範組合員表彰者等を決定



理事十一名（一名欠席）、監事四名出席のもと、次の十一の協議事項を審議決定した。

## 協議事項

### 協議一

#### 第二十年度（平成二十五年） 事業報告及び剰余金処分案承認

▼平成二十五年事業報告書を監事に提出し、五月十三日から十六日に亘り、監事による子会社調査を含めた定例監査が行われ、その結果として監査報告書が理事会に提出された。これを受けて、平成二十五年事業報告書の確定と、この内容に関して軽微な字句補正等が生じた場合の判断を組合長に一任することを決定した。

▼剰余金処分案は当期末処分剰余金二千三百九十八万九千九百円に対して、利益準備金六百五十万円、集送乳設備機器積立金六百二十五万九千九百円を差し引き、次期繰越剰余金一千二百二十二万九千九百円と決定した。剰余金処分では事業利益が生じないことから、出資配当は行わない提案として総会付議を決定した。

### 協議一 監事から提出の監査報告書受理

▼五月十三日から十六日に亘り、平成二十五年の組合業務執行状況等に関する監事の定期監査が行われ、この監査結果を踏まえた「平成二十五年監査報告書」が提出され、この受理を決定した。



（定例監査の様子）

### 協議二

#### 第七次中期三か年計画の策定

▼五月十二日開催の第一回理事会で、「第七次中期三か年計画」の策定骨子を

審議し、この決定に基づき「事業計画  
収支」「投資計画」「要員計画」「資金  
計画」等を整備して審議を深めたが、  
「第二十一年度事業計画」において事業  
収支の見直しを図ることとし、継続審  
議扱いとした。

#### 協議四

##### 第二十一年度事業計画の策定

▼五月十二日開催の第一回理事会で  
の策定骨子をもとに作成した「平成  
二十六年事業計画・事業収支予算」  
を審議し、一部事業収支の見直しを図  
ることとし継続審議扱いとした。

#### 協議五

##### 定款及び定款附属書

##### 役員選任規程の一部変更

▼去る十二月二十六日開催の第十一回  
理事会決議に基づき、定款第二十七条  
に定める役員定数を現行の理事十二人、  
監事四人から理事九人、監事三人の  
十二人とし、尚且つ役員推薦委員を現  
行十四人から十名に変更する提案を次  
回通常総会に付議することを決定した。  
▼この決議は定款第四十五条に基づき  
正組員の半数以上が出席し、その議  
決権の三分の二以上の多数議決を要す

る「総会の特別議決事項」としており、  
次回開催の通常総会に「定款及び定款  
附属書役員選任規程の一部変更」を付  
議し、これには付帯決議として、定款  
変更の際して行政庁の指示により字句  
の修正、追補、修正を要する場合はそ  
の変更を理事会への一任と決定した。

#### 協議六

##### 第二十回通常総会の開催と 総会付議事項等

▼第二十回通常総会を来る六月二十四  
日に開催することとし、その開催場所  
開催内容、上程議案、通知方法及びそ  
の内容等を決定した。

#### 協議七

##### 優秀組員 (良質乳出荷・優良検定)の表彰

▼平成二十五年年度模範組員として、  
来る六月二十四日開催の第二十回通常  
総会開会前に、①優良乳質出荷者表彰  
に関する例規、②乳用牛群検定成績優  
秀組員表彰要領の基準を満たした組  
合員の表彰を審議した。

▼この結果、優良乳質出荷組員五名、  
乳用牛群検定成績優秀組員八名の表  
彰を決定した。

#### 協議八

##### 酪農現役従事功労者 (八十歳以上)表彰

▼平成二十六年五月三十一日現在にお  
いて満年齢八十歳に達し、かつ現役で  
酪農業(搾乳又は給餌、清掃作業等)に  
従事され、広島県の酪農発展に寄与さ  
れてきた組員、又は家族の方を被表  
彰対象者として表彰することとし、審  
議した結果、五名の表彰を決定した。

#### 協議九

##### 永年勤続職員表彰

▼就業規則第六十九条(五)並びに賞罰  
実施規程第六条に基づき、永年勤続職  
員の表彰について、五月二十九日午  
十一時から開催した第一回賞罰委員会  
の審議決定結果を受けて、三名の職員  
表彰を決定した。

#### 協議十

##### 庄原TMRセンターの 倉庫転用にかかる整理

▼去る三月十九日開催の第十三回理事  
会において、五月末日をもって庄原T  
MRセンターの製造業務を中止し、庄  
原倉庫として活用することを決定した

ところであり、この倉庫転用にかか  
る整理について「庄原TMRセンター  
製造中止と倉庫運用開始に伴うスケ  
ジュール(案)」を審議し、これに沿っ  
て具体的整理にあたることを決定し  
た。

#### 協議十一

##### リース事業の取次にかかる理事と 組合間の利益相反取引の承認

▼理事二名からリース事業の申請を受  
け、理事会運営規則第七条一項の別表  
(役員に関する事項)に掲げる「理事と  
組合間の利益相反取引」の規定に該当  
することから、この承認を決定した。

#### 報告事項

- 一 平成二十六年年度乳価交渉にあ  
たる広酪試算値
- 二 平成二十六年年度生乳生産状況
- 三 子会社「山陽乳業(株)」の経営状  
況
- 四 集乳委託業者一社における事  
業継続有無の検討
- 五 リース事業の事務取次

第三回理事会

六月七日 広酪本所会議室

第二十一年度事業計画

第七次中期三か年計画策定を決定

平成二十六年

「コンプライアンスプログラム」策定を決定

理事十名(二名欠席)、監事二名(一名欠席)の出席のもと、次の九つの協議事項を審議決定した。

協議事項

協議一

第二十一年度事業計画の策定

▼五月二十九日開催の第二回理事会で継続審議扱いとなった「第二十一年度事業計画の策定」の事業収支案を提案し、これを妥当として通常総会議案として上程することを決定した。

協議二

第七次中期三か年計画の策定

▼協議一の関連議案に基づき、「事業計画収支」、「資金計画」の修正を行い総会議案として上程することを決定した。

協議三

平成二十五年剰余金処分案の注記事項の一部変更

▼五月二十九日開催の第二回理事会で、「平成二十五年剰余金処分案」を決定したが、「第二十一年度予定損益計算書」の収支見直し結果から、同処分案の注記事項を一部修正し、通常総会議案として上程することを決定した。

協議四

集乳業者の事業全部廃止に伴う対応

▼広酪の組合員に係る集送乳を取り扱う運送業者から、経営不振を理由に平成二十六年七月末日をもって集乳・送乳事業を含む全事業廃止の意向を受け、組合員の集乳等に支障がないよう組合として課題解決に向けて、関係団体、中国生乳販運と共に対処する方向性を決定した。

協議五

平成二十六年法令遵守等実践計画の策定

▼平成二十六年の基本方針並びにコンプライアンスプログラムの実践を決定した。

協議六

(一社)広島県酪農協会の役員候補者の推薦

▼同協会は来る六月二十六日開催の通常総会において、任期満了に伴う役員改選期にあたり、広酪に対しては理事四名、監事二名の推薦要請を受けた。

協議七

広島県酪農政治連盟の役員候補者の推薦

これを受けて、理事候補者に岩竹重城組合長、鈴木道弘専務、川角晴俊理事、下岡正宏理事、監事候補者に大上浩也理事、三浦貴美子理事の推薦を決定した。

役員候補者の推薦

▼同連盟から来る六月二十六日開催の通常総会において、任期満了に伴う役員改選にあたり、広酪に対して委員六名、監事二名の推薦要請を受け、委員候補者に藤岡辰彦組合員、上野千里組合員、岩竹重城組合長、鈴木道弘専務、川角晴俊理事、下岡正宏理事、監事候補者に大上浩也理事、三浦貴美子理事の推薦を決定した。

協議八

山陽乳業(株)の役員候補者の推薦

▼同社は来る六月二十七日に定時株主総会を開催し、任期満了に伴う取締役の改選、監査役の補欠選任議案を上程する予定にあり、広酪に対しては同社推薦の取締役五名の推薦、広酪から取締役三名、補欠選任に伴う監査役一名の推薦を求められ、今後の役員執行体制

制を含め審議した。

▼その結果、同社推薦の五名の取締役の推薦を決定し、広酪から取締役候補者として、岩竹重城組合長、温泉川寛明理事、川角晴俊理事の三名、監査役に鈴木道弘専務の推薦を決定した。

### 協議九

#### みわTMRセンターの施設設備

▼同センターの施設整備において、当初計画に掲げた未着工工事や稼働後に新たに改善が必要となった追加工事の施設整備について審議決定した。

▼主な工事内容は、庇の追加工事、車両消毒装置、排気ダクト集塵装置、圧縮梱包機周辺の集塵装置、盗難等の防犯設備等。

### ■報告事項

- 一 子会社・山陽乳業(株)の製造製品にかかるとの景品表示の「誤表示」
- 二 平成二十五年度法令遵守等の実践報告
- 三 新しいTMR飼料の利用者からの指摘と対処状況
- 四 牛乳普及協会による牛乳月間の対応
- 五 地区懇談会の資料

## 役員推薦会議

# 補欠選任 「理事候補者1名」 推薦決定

五月十九日 広酪本所会議室



理事一名から組合に対して、次期通常総会の終結をもって退任したいとの申出があり、理事会ではこの受理を決定した。この決定を受けて、岩竹重城代表理事組合長は、役員推薦会議事前説明会を開催し、補欠選任に至った経緯・経過を説明した上で、五月十九日に役員推薦会議を開催した。

議長には橋本洋資氏、議事録署名人には中野壮六氏、伊達公一氏を選任。

理事一名の補欠選任候補者としては、理事会決議をもって組合長が提案した藤岡辰彦氏の推薦を決定した。

#### ■委員氏名(十四名)敬称略

橋本洋資、中野壮六、前谷重夫、住田博幸、上川俊夫、石井修二、吉川春三、三戸保、西川博、栗原隆幸、淵上増廣、溝辺清春、伊達公一、新舎和久

## 「稲発酵粗飼料稲」適正な農薬使用を

稲発酵粗飼料稲への農薬使用については「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に記載された農薬の種類・使用方法での使用をお願いしております。

このほど、新たに使用可能な農薬が追加されておりますので、ご確認のうえ、地域の生産実態に応じた適正な農薬選定と使用をお願いします。

マニュアルや農薬等は次の農林水産省のホームページで確認頂けます。

ホーム > 組織・政策 > 生産 > 畜産部ホームページ > 飼料 > 「稲発酵粗飼料(ホールクロップサイレージ)について」 > 「生産・給与技術について」

「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」

「稲発酵粗飼料に係る適正な農薬の使用について(平成26年度通知)」

「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」のうち農薬使用に関する部分の抜粋(平成26年5月20日付け)」

ご注意ください